

学校法人盛岡大学新校舎「スチューデントホール」

姫神山

施工地／岩手県滝沢市砂辺808番地 竣工年月／平成28年7月
 構造／鉄筋コンクリート造2階建 延床面積／2,013.43㎡



Fulfilling College Life — 充実した学園生活 —

1951年6月、学校法人盛岡大学の前身である「各種学校盛岡生活学園」が設立され、キリスト教の「愛と奉仕の精神」のもと建学されました。現在では、豊かな教養を備え社会の福祉に貢献する人材の育成を教育目標に置き、伝統の文学部・新生の栄養科学部の2学部を擁し、全国に輩出した人材は25,000人を超え、在学生を含め卒業生にも親しまれている大学です。

大学創立から65周年となる平成28年7月に完成した新校舎「スチューデントホール」は、講義室や演習室、大ホールの整備を中心に、学生が集いやすく、利用しやすい機能的な校舎として教育環境の充実に努めました。

楽しく学びたくなる校舎

外観は、既存校舎との調和を図り一体感ある白系の色彩を取り入れ明るく落ち着いた着きのある計画とし、コンクリートの打放しを随所に組み込み周囲に溶け込む違和感のないシンプルなデザインとしました。また、屋上の設備スペースを周囲から視認できないよう、外壁部分を高くし外観形成の維持にも配慮いたしました。

校舎内部は学生が利用しやすい明るく快適な空間造りを行いました。1階岩姫ラウンジは開放感を重視して天井高さを高くし、外部面にはカーテンウォールを採用し陽光を充分に取り込む明るく開放的なスペース確保しました。またラウンジ全体には床暖房設備を設け冬期間の快適な学習環境の維持に配慮しました。1階女性用トイレに併設しました多様なパウダールームは、各ブース内にカバンや小物類を身近におけるカウンターを設置し清潔なセミプライベート空間としてご利用いただけます。2階には最大約400名を収容するアクティブホールを設置しました。可動式ステージによりイベントの場として、または可動式間仕切りにより2分割しての多目的ホールとして、様々なご利用形態に対応する施設計画を行いました。



明るい開放的な岩姫ラウンジ

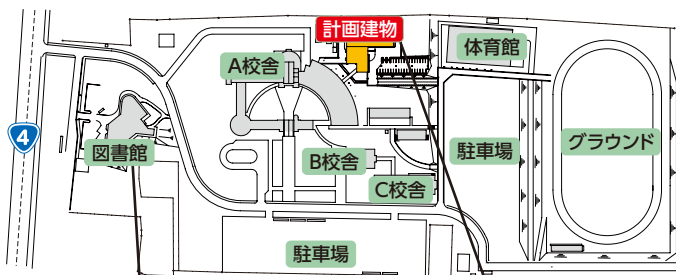


全面に床暖房設備を敷設するラウンジ内



手洗いを備える清潔なパウダールーム

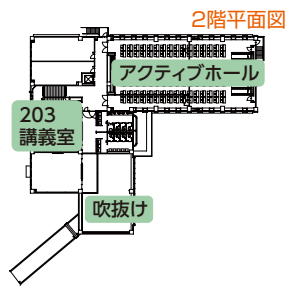
配置図・平面図



平成17年7月に完成した
当社設計の図書館



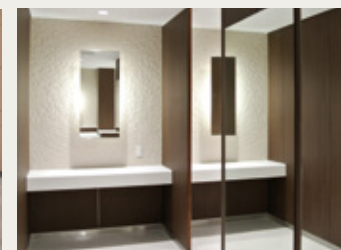
新校舎「スチューデントホール」



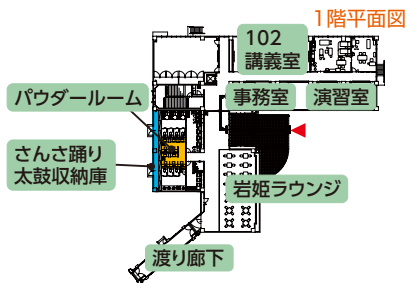
可動間仕切りを備える
アクティブホール



多様な利用に対応する
可動式ステージ



堺壁により独立した空間の
パウダールーム



岩手県盛岡市の夏祭り「盛岡さんさ踊り」には、毎年盛岡大学の学生200名以上が参加し、7年連続最優秀賞を受賞しています。



乾燥機装備のさんさ踊り太鼓収納庫



66名までの講義が可能な102講義室